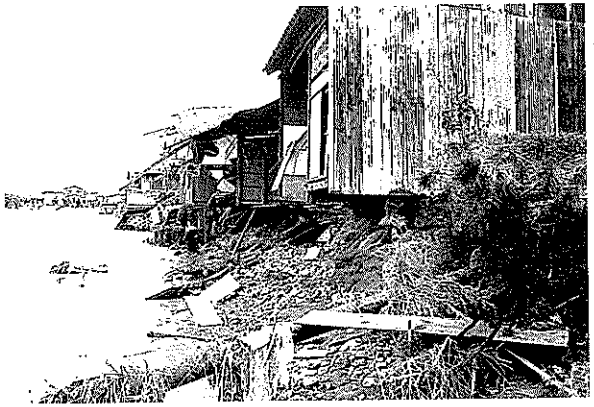
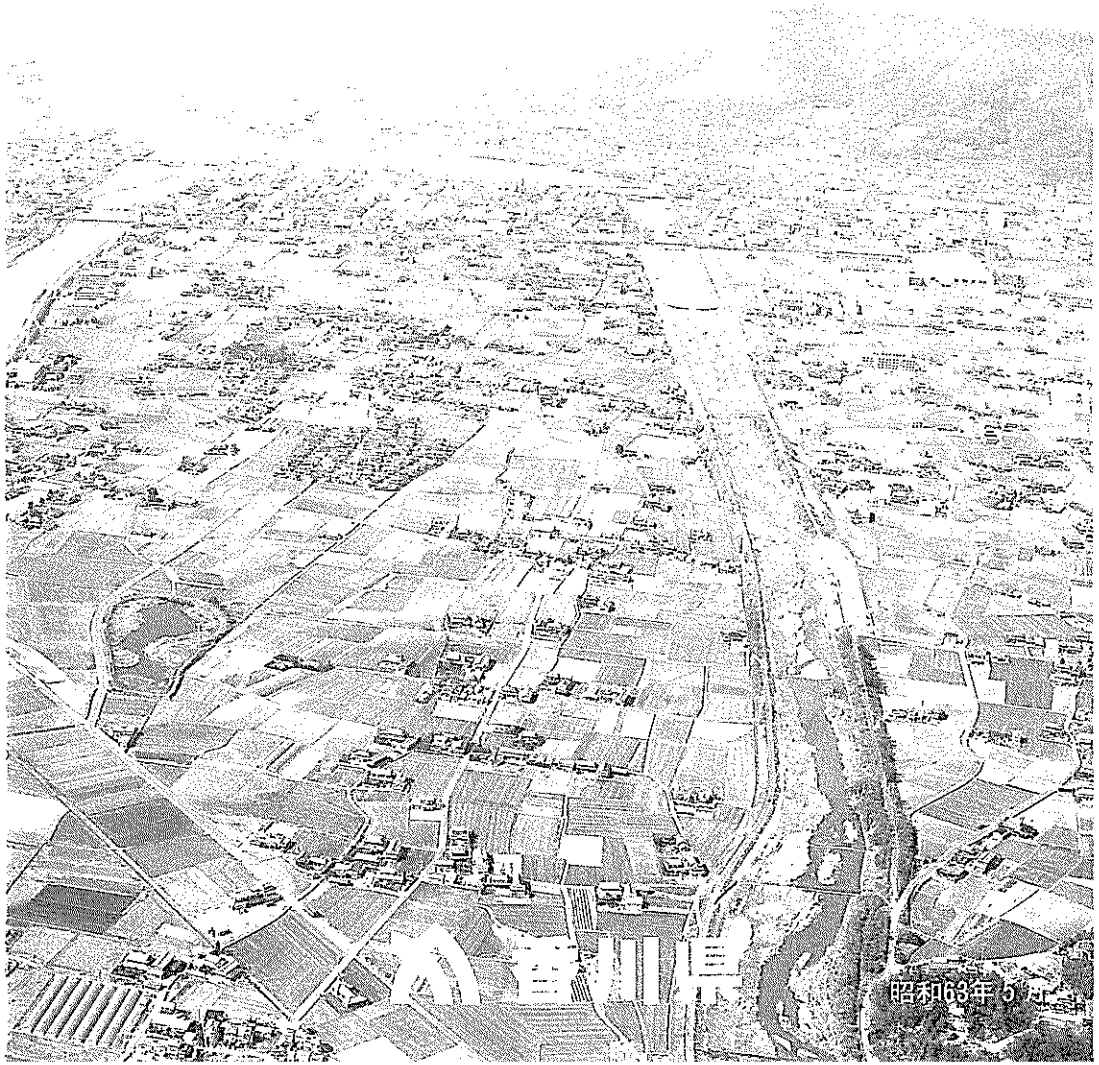


香川県土木部河川課
高松市番町四丁目一番十号　☎(0878)31—1111
香川県高松土木事務所
新川改修事業所
木田郡三木町池戸2229—1　☎(0878)98—7918

二級河川新川水系

新川河川激特事業



新川河川激特事業

●激特事業とは

激甚な災害を受けた地域について、一定計画に基づき、一定期間（５ヶ年程度）で河川を改修し、再度災害を防止する目的で、「河川激甚災害対策特別緊急事業」（激特）が昭和51年度より始まりました。現在までに全国で151河川で事業が完了しており、29河川で継続中です。

事業の範囲

事業の範囲は全体事業費10億円以上で、かつ原則として、当該災害による一般被害総額に相当する額を限度として次の各号の一に該当するもの。

1．河川の氾濫による一区域の被害が次のいずれかに該当する場合。

イ、流失(全壊)家屋数　50戸　以上

ロ、浸水家屋数　2000戸　以上

ハ、換算戸数

(1)半壊家屋数　2戸＝流失（全壊家屋数）1戸

(2)著しい浸水家屋(軒下程度)　3戸＝流失（全壊家屋数）1戸

(3)浸水家屋数　40戸＝流失（全壊家屋数）1戸

として換算し加算した数値が、　イに相当するもの

例えば

浸水家屋数	400戸……10戸
軒下程度浸水家屋数	90戸……30戸
半壊家屋数	30戸……15戸
換算全壊家屋数	……55戸…㋑に該当

2．河川の氾濫による一市町村の区域内の一水系に係る被害が前号のいずれかに該当する場合。

採　択

①1市町村内において1区画の被害が 2,000戸以上の浸水（又は50戸以上の全壊）があった場合。

②1区画の被害は浸水 2,000戸に達しないが1市町村内の被害は浸水 2,000戸以上の場合。

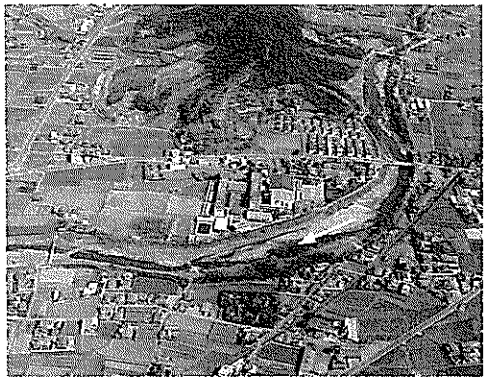
③1区画の被害が2以上の市町村にまたがっており1市町村内の被害は浸水 2,000戸以下であるが1区画の被害としては 2,000戸以上の場合。

不採択

④1市町村内の被害は浸水 2,000戸以上であるが水系が別で1水系だけでは 2,000戸に達しない場合。

⑤水系全体で 2,000戸以上の浸水があった場合。

▲合流点附近



▲高田橋附近

●新川河川激特事業の経緯

昭和62年10月16日～17日にかけて四国地方に上陸した大型台風第19号は、県内各所に甚大な被害をもたらしました。

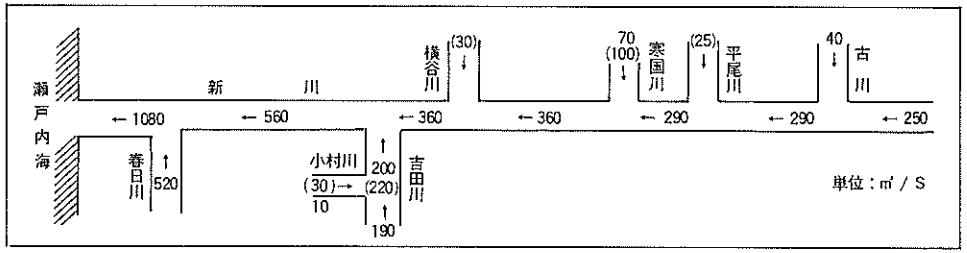
中でも、新川水系の新川、及びその支流の吉田川流域においては、木田郡三木町、高松市亀田町、前田東町、前田西町、東山崎町、及び春日町で約870ha にわたって浸水し、浸水家屋も4,216戸に上りました。

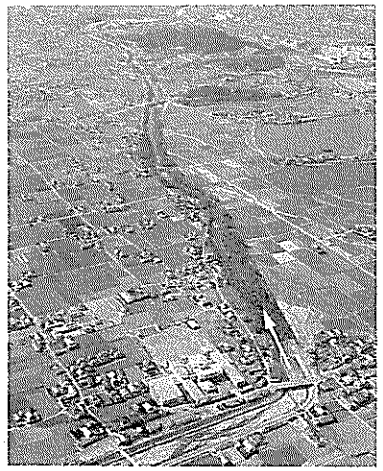
このため、香川県では、当該水系において継続中であった中小河川改修事業の計画の一部見直しを行い、「河川激甚災害対策特別緊急事業」(激特)による改修事業を実施することになりました。

●新川河川激特事業の概要

被災原因	台風第19号(昭和62年10月16日～17日)
採択年度	昭和62年度
計画区間	新川Ｌ＝9.0km(琴電志度線新川橋梁～三木町高野橋)
	吉田川Ｌ＝1.6km(合流点～高松市小村橋)
工事概要	築堤　320,000㎡
	護岸　21.2km
	橋梁　12橋（道路橋９橋　鉄道橋３橋）
	堰　14ヶ所
総事業費	141億円（一般被害総額）
施行計画年度	昭和62年度～平成３年度

●流量配分図



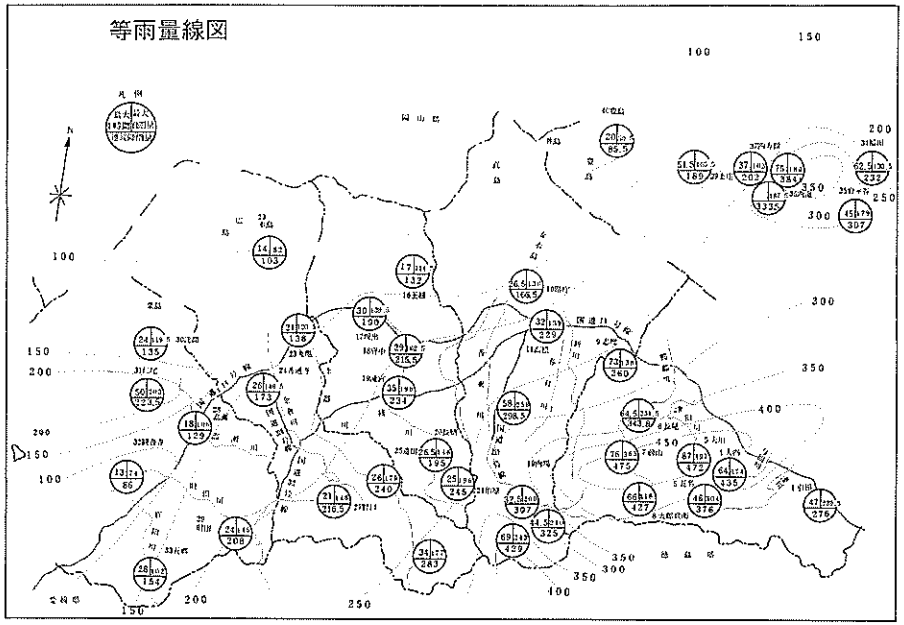


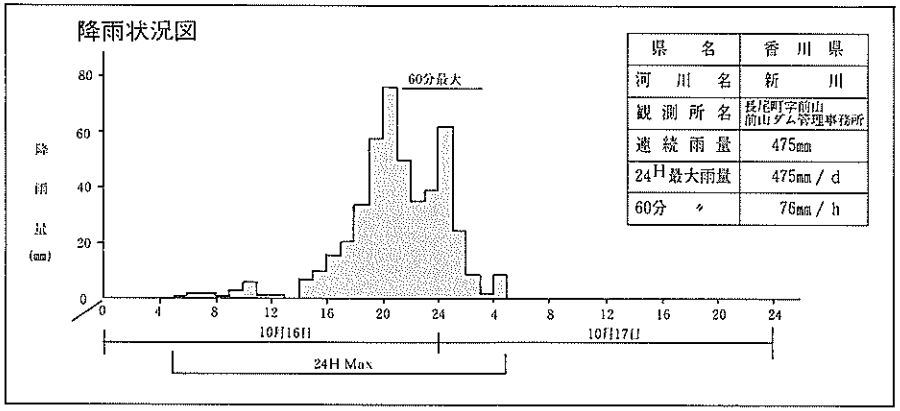
▲三木町高野橋附近

▲新川河口附近

●降雨の状況

昭和62年10月16日～17日 台風19号による





県名	香川県
河川名	新川
観測所名	長尾町字前山 前山ダム管理事務所
連続雨量	475mm
24H最大雨量	475mm / d
60分 〃	76mm / h

●被害状況

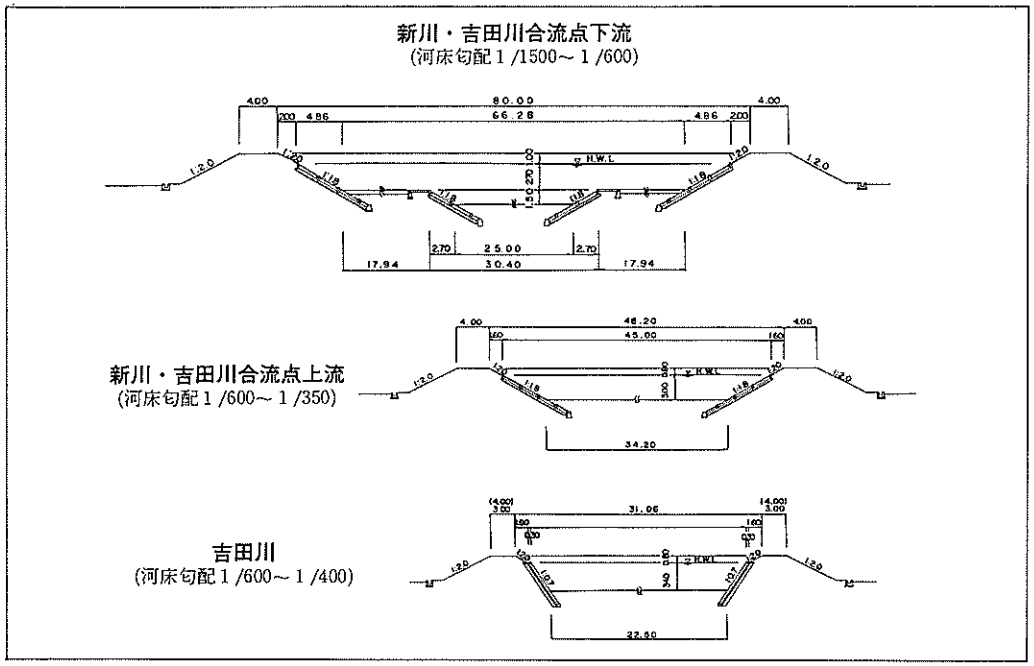
(1) 被害市町名　高松市春日町、東山崎町、前田西町、前田東町、小村町、木田郡三木町

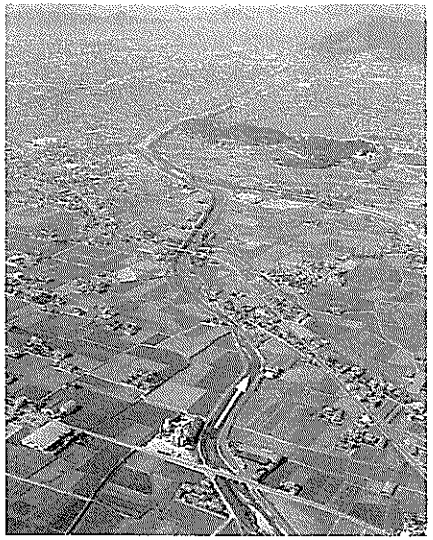
(2) 浸水面積　870ha

(3) 家屋の被害

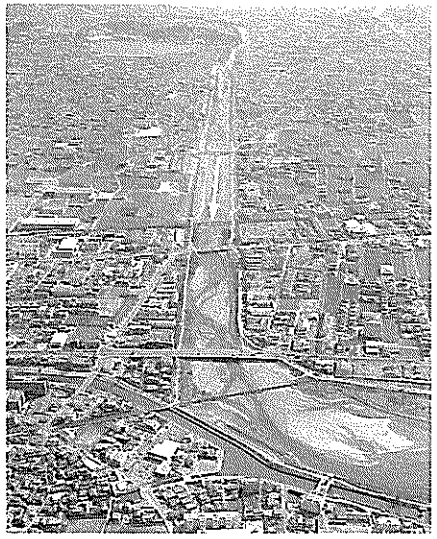
区分	床上浸水	床下浸水	計
実戸数	1,658	2,558	4,216
100㎡換算戸数	2,587	3,622	6,209
全壊戸数	65	90	155

●標準横断面図



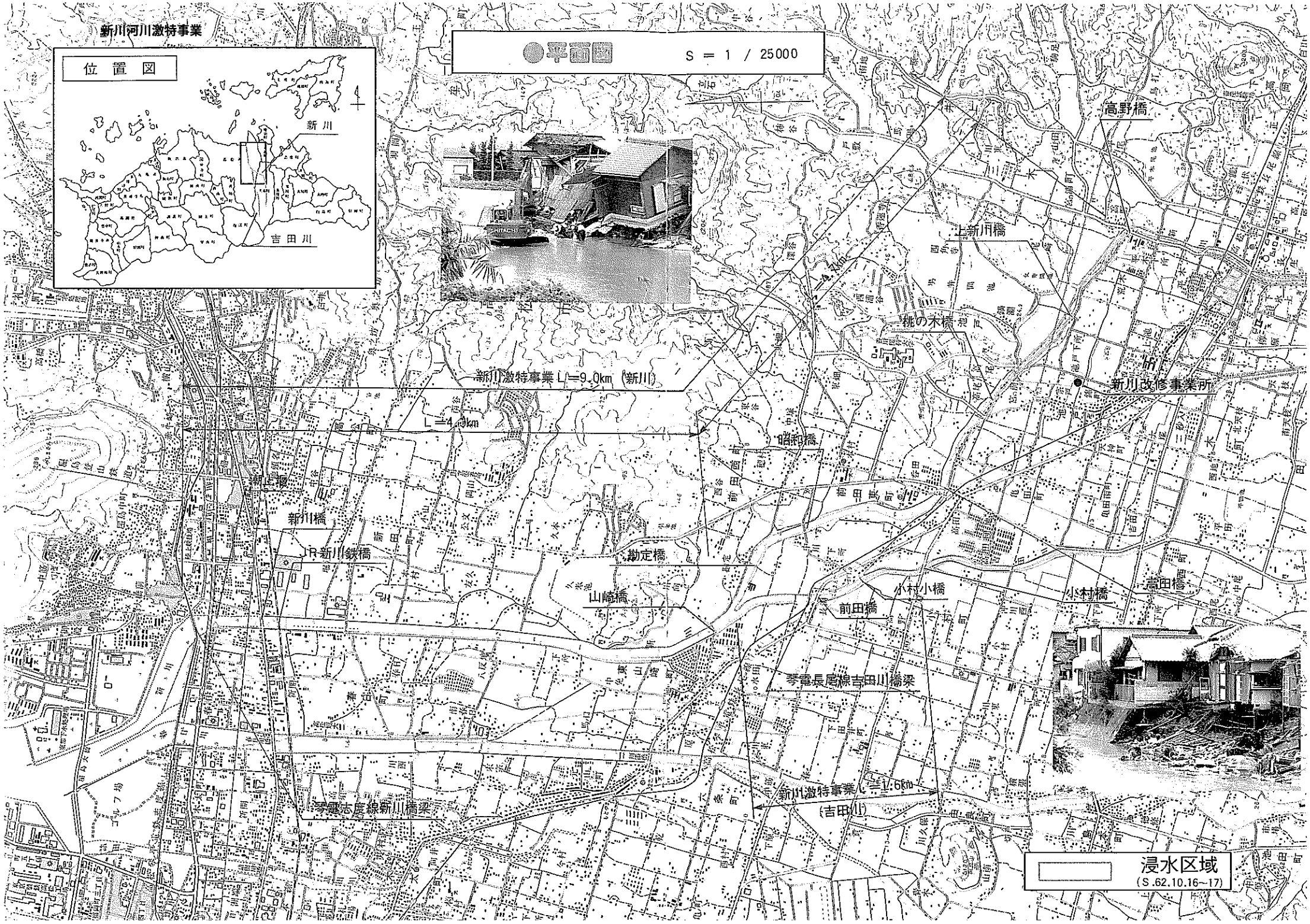


▲小村橋附近



▲新川起点附近

新川河川激特事業


位置図
新川
吉田川
平面図
S = 1 / 25000
高野橋
上新川橋
桃の木橋
新川改修事業所
新川激特事業 L=9.0km (新川)
L=4.0km
昭和橋
新上橋
新川橋
JR新川鉄橋
勘定橋
山崎橋
小村小橋
前田橋
小村橋
高田橋
琴電長尾線吉田川橋梁
琴電志度線新川橋梁
新川激特事業 L=1.6km
(吉田川)
浸水区域
(S.62.10.16~17)